

缺けるは惜むべし。(仁友社發行、價二〇〇)(梅原)

●日本歴史圖錄 第壹輯、第貳輯

國史を讀むもの、常に不便を感ずるものは其參考をすべき適當なる歴史圖錄に乏しきことなるべし、本圖錄は此の缺陷を填さんために企圖せられたるものにして、高橋健自氏を編輯主任に斯界の諸大家を顧問として、歴史の印象を明らかならしむべき遺物遺蹟等の圖版を選び逐次刊行せんとして、今回其第壹及び第貳輯の發行を見るに至りしものなり。第壹輯は拾五枚のコロタイプ版及彩色版一葉を含み、其中には藤原時代貴族の遊樂の狀を偲ぶべき「駒、競行、幸繪、詞」の一部を始めとし、神武天皇陵に就ては正面及側面の寫眞圖、文久三年勅使參向圖、修陵碑拓影等を蒐め、又埴輪の圖に於ては數種代表的のものを選び、奈良朝時代の樂器にては笙、篳、阮咸、篋及竿等を表はし。其他空海、平治亂、源賴朝、大坂陣、朱印船、鎖港談判使節、元祿風俗、靈法制定、神樂、石燈籠等各種方面の事物に對して興味ある圖錄を收めあり。第貳輯に於ては、鎌倉時代の射藝として「男衾、三郎繪卷」の一部をとりて彩色版にせるを初めとし、以下仁徳天皇陵に關するもの數圖、鳥毛立、女屏風、後三年の役、鳳凰堂の各部より天主教修好條約、彰義隊等に關するものに及び凡て七十二個の圖版あり。第壹、第貳輯共に別に三十餘頁の解説書を附して各圖に就いて親切なる説明

を施せり。總じて其の材料の選擇及び各圖の配當に於て編輯者の苦心の察すべきものあり、只一葉の中に關連する數箇の圖版を收めんとしたるものありて爲めに圖の稍々小に過ぎたる如きものあるは、費用の關係もあるべけれど、此種圖錄としては望外の感を懷く者少からざるべし、然れども本圖錄は我國文化の各方面に互り信據すべき材料によつて參考圖を提供せんとするものにして世上容易に見るを得ざるものをも集めたるを以て實に國史の教育に於て其用多きのみならず、一般家庭に於ても好尚鑑賞の料たるを失はざるものなり。(東京市麴町區元園町歴史參考圖刊行會發行、非賣品、會員頒布〔西田〕)

●祖先祭祀と日本法律

法學博士穗積陳重著 穗積殿夫譯

本書は著者が明治三十二年羅馬にて開催の萬國東洋學會席上試みたる講演の原稿 Ancestor Worship and Japanese Law の訂正増補第三版の邦譯なり。凡て三編十六章及び附録二編より成り、緒論には世界に於ける祖先祭祀の過去及び現在を叙し、第一編祖先祭祀概論には祖先祭祀は父祖に對する敬愛が其起因にして、又社會生活の起原は實に祖先祭祀に外ならずと論じ、第二編日本に於ける祖先祭祀には日本に皇祖の祭祀と氏祖の祭祀と家祖の祭祀の三種あるを叙し、第三編祖先祭祀と法律の條には日本の政治